



Topic 11

OUTDOOR⇄INDOOR

| Brand | パオラレンティ

Paola Lenti

新ショールームで展開するブランドの新たな試み

瑞々しい植物と共存する鮮やかな新作のアウトドアコレクションの数々と、ミックスコーディネートで表現したインドアコレクションの画期的な提案を拝見しました。

文：小柳亜加莉

アウトドアとインドアを同じ世界観で表現

ミラノ・デザイン・ウィークの間、新たな拠点となる複合施設を初披露したパオラレンティ。印刷工場をリノベーションしたというこの施設はミラノ市街近郊に位置し、その敷地の広さは4000㎡にも及ぶ。デザイナーのパオラ・レンティはショールームを歩きながら「2026年にはレストランやホテルなども完成する予定です。豊かな自然と共存するこの空間は、地域に開かれたパブリックスペースとしての機能も担っていきます」と展望を話してくれた。

パオラレンティは、1994年にミラノに設立したブランド。サステナブルに配慮し、独自に開発した多彩なファブリックを使った家具で、室内外をつなぐ提案をし続けている。今回公開されたショールームのアウトドアエリアには、植物学者とコラボレーションして選ばれた多種多様な植物がいきいきと生い茂っている。ここでは、自然の一部となってパオラレンティの家具と共に過ごす、至福の時間をさまざまなシーンで表現していた。鮮やかな青が目

引くソファ「サントリーニ」にはトレンドであるブークレ調の素材が採用されるなど、アウトドアファニチャーにおけるファブリックの多様化も各所で見られた。

インドアエリアでは、アウトドアの素材をインテリアの建材にも生かしたり、パオラレンティの家具と共にヴィンテージ家具やアートがスタイリングされていたりと、あらゆる境界を超えたミックスコーディネートが印象的だった。「主人公は家具ではなく、それを使っている人」。「パオラレンティの家具は、自然や既存家具といった周辺環境に寄り添っています」というパオラのインテリアの本質を表現する言葉が象徴する展示だった。



1 nendoによる家具の生地を再利用したインスタレーション。パオラレンティが取り組んできたサステナビリティを表現している。2 nendoによるMOTTAINAIコレクション「Hana-arashi」の新作テーブルも発表。3 デザイナーのパオラ・レンティ。製作工程を全て自社で行うことで、独自の素材や豊富なカラーを実現。4 3つのモジュールで構成される「サントリーニ」。背もたれや肘掛け部分と座面の間に隙間があり、通気性にも優れている。鮮やかなグリーンテーブルと共に。

5 キッチンカウンターや造作暖炉などにも、パオラレンティオリジナルの面材が使用可能に。これ以外に木製建具も展開。6 既存家具やアートとのミックスコーディネートの提案。パオラが人生で愛おしく感じた物がスタイリングに組み込まれている。

お問い合わせ●
パオラレンティ 東京ショールーム
☎03-6712-5354
<https://www.paolalenti.jp/>

